



夏におすすめ！*干潟で繰り広げられる熱き戦いを描いた一冊*

日光が降り注ぐ灼熱の干潟に這いつくばる男性。過酷な環境の中、周囲からの突き刺さる視線もなんのその。彼が何時間も追いかけて続けるのは謎だらけの小さなカニ「ハクセンシオマネキ」。

本書は「カニ vs カニ」「カニ vs カニ研究者」の熱き戦いの記録です。

*ハクセンシオマネキの繁殖期は6月～8月。これからが恋の駆け引きのベストシーズン！

新・動物記5

カニの歌を聴け

ハクセンシオマネキの恋の駆け引き

竹下文雄 著

◎歌うオス、迷うメス、ライバルとの三角関係

「グーッ・グーッ・グーッ……」暗い穴の奥でかすかに響く低い音。これはハクセンシオマネキのオスがメスを巣穴に誘う求愛音だという。しかしメスがその音をどう評価しているのかも、そもそも音がカニの身体のどこから出ているのかすらも分からない。不思議な歌に導かれてカニ研究者になった著者が見た、炎天下の干潟の恋模様。



四六判並製 192頁 定価：本体2000円+税
ISBN978-4-8140-0395-2 C0345



干潟に生きる様々な動物たちについてはこちら。
もちろん、ハクセンシオマネキも登場します。
干潟の保全にも目を向けた一冊です。

生態学ライブラリー11

干潟の自然史 砂と泥に生きる動物たち

和田恵次 著

◎踊るカニ、シャコにとりつく貝……

カニ、ゴカイ、魚、鳥、ヨシ、藻類……様々な生物が複雑な生態系を織りなす干潟は、水質の浄化や水産資源の維持などの面で重要であるとともに、知的好奇心を刺激する計り知れない魅力がある。日本の海岸から急速に失われつつある干潟の大切さと楽しさをこの一冊に。

四六判上製 218頁 定価：本体2100円+税 ISBN978-4-87698-311-7 C0345



注文書 6月号

お申込みは→ 京都大学学術出版会 FAX: 075-761-6190

番線印	ご担当	様	注文 枚数	<p>*既刊* 京都大学学術出版会 発行/発売</p> <p>【新・動物記】カニの歌を聴け 【随時】 ISBN 978-4-8140-0395-2 C0345 定価：本体 2000 円+税</p>
			枚数	<p>【生態学ライブラリー】干潟の自然史 【随時】 ISBN 978-4-87698-311-7 C0345 定価：本体 2100 円+税</p>